

着衣着火にご注意！

毎年、全国的に、着衣に火がつき燃え上がったため、火傷を負い死亡するという事例が数十件発生しています。

彦根市消防本部管内においても、着衣着火により火傷を負い死亡された事例が発生しました。

火災は、ちょっとした不注意で発生します。次のことに留意し、火の取扱いには十分注意しましょう。

着衣着火への注意事項

- ガスコンロを使用しているときは、その周りの物に手を伸ばさないようにしましょう。
- 屋外で火気を使用するときは、火の燃え移りやすい風下に立たないようにしましょう。
- マッチやライターは、子供の手の届かない場所に保管しましょう。
- 花火をする時は、ローソクの火が衣服に着火しないように注意しましょう。



もしも、着衣に火が着いてしまったら・・・

もしも、着衣に火がついた場合は、手ではたいても消すことはできません。慌てないですぐに水をかけてください。万が一、火傷を負ってしまった場合は、流水で冷やし、救急車を呼ぶ必要がある場合は、そのまま冷やし続けましょう。

また、近くに水がない場合、走らないでその場に転がって消火してください。走り回ると、かえって風が起こり火の勢いを大きくします。

